

## 会長 大森美津子（香川大学自然生命科学系）

会員の皆様には、日頃より中国・四国地方会に、積極的にご参加・ご支援いただき感謝しております。今年度、会長をさせていただきます香川大学の大森美津子です。どうぞよろしくお願い致します。

一般社団法人日本看護研究学会の会則の変更に伴い、3月の総会の決定を受けて、役員・役職名・役職の変更がありました。副会長は、本会の理事の中西純子先生です。共によりよろしくお願い致します。役員の詳細なメンバーは、ホームページをご参照下さい。加えて、今年度に選挙を行うこととなりました。オンライン選挙で、県毎に自分達の県の運営委員を選出するようになります。自分の県の代表を、自分達で選び、積極的に運営に参加する足がかりになればと期待して、運営委員会で活発に議論し決めました。

今年度の中国・四国地方会においても、看護研究への姿

勢や運営のあり方を、昨年同様に進めていきたいと思えます。看護研究は、多くの大学や臨床における研究の積み重ねで、さらに智を根づかせて、深く人間の本質に迫るものに向かっていると感じています。この時代の流れを感じて、その流れの少し先を行く地方会になることを目指したいと思えます。そのために、若い人々の可能性を信じて、見守り支えることから、会員の方や委員の方のご意見を大切にしたいと思えます。各委員会において、委員長を中心に、チャレンジ精神で活発に進んでいます。来年度の中国・四国地方会の記念すべき30周年に向けても準備を進めています。会員の皆様のご意見を反映した中国・四国地方会にしたいと思えますので、どうぞよろしくご協力・ご参加をお願い致します。

## 第28回学術集会在島根で開催されました

## 実行委員長 島根県立大学看護学部 吉川 洋子

島根県立大学出雲キャンパスにおいて、日本看護研究学会中国・四国地方会第28回学術集会在中国・四国地域の会員・非会員、学生ボランティアを含め約200名のご参加により開催しました。

「実践と研究で創造する“看護の知”」を学術集会テーマとし、一般演題として、口演12題、示説32題の発表があり、活発な意見交換がされました。

学術講演では、日赤看護大学の筒井真優美先生に「看護実践と研究の縁を取り持つアクションリサーチ」と題し実践の中から“看護の知”を紡ぐ研究デザインについて、事例をまじえてのわかりやすく話していただき、会場からの質問も多く理解を深めることができました。特別講演では、島根県立大学小泉凡先生に小泉八雲が現代に残した五感力について多くの資料に基づきお話しいただき、興味深く聞きました。また、学術委員会主催の特別セミナーでは質的研究における文献の読み方について有意義な学びの場となりました。

最後になりましたが、ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

## 第28回学術集会に参加して

## 愛媛県立医療技術大学 助教 井上 明子

私は、看護教育において学生の学びが学内授業を基本に臨地実習を通してより深い学びとなるよう期待しています。今回の研究発表では、臨地実習や学内演習での学生の学びの報告等、今後の教育において参考になる部分もありました。また、特別セミナーの「研究支援-文献の読み方パート2：質的研究編」では講義の後、一つの論文についてファシリテーター支援の下、クリティークの視点から意見交換を行いました。日頃、量的研究に取り組んでいる参加者等、様々な立場からの意見も出され1時間ではありましたが有意義な時間となりました。学術講演の「看護実践と研究の縁を取り持つアクションリサーチ」では、臨床スタッフが感じているジレンマを研究者と共に考え変化へと導く研究手法が紹介され、看護研究の本来の目的を改めて考えさせられました。

今回、自然豊かな地で開催され、様々な場所で学生の気持ちの良い挨拶に迎えられ心地良い実りの多い学会となりました。

## ●平成 26 年度事業報告●

### 1. 会員数

平成 26 年 4 月 1 日現在 940 名

### 2. 第 28 回学術集会開催

実行委員長：吉川洋子 先生（島根県立大学）

日 時：平成 27 年 3 月 8 日（日）

場 所：島根県立大学 出雲キャンパス

テーマ：「実践と研究で創造する“看護の知”」

演 題：口演 12 題、示説 32 題（計 44 題）

参加者：198 名

### 3. 平成 26 年度総会開催

日 時：平成 27 年 3 月 8 日（日）12:30～12:50

場 所：島根県立大学 A 会場大講義室

### 4. 委員会報告

#### 1) 運営委員会

##### (1) 第 1 回運営委員会会議

（平成 26 年 8 月 23 日（土）、奈良県文化会館）

①第 27 回学術集会（愛媛）の報告

②地方会活動計画、運営委員会活動、学術委員会活動、広報委員会活動の報告

③本会の定款・規則の改正に伴い、地方会役員の選挙による選出、役員構成の変更について検討

④第 28 回学術集会（島根）準備状況の説明

⑤第 29 回学術集会開催地、実行委員長の決定  
坂本雅代先生（高知県）

⑥第 30 回学術集会の開催地、実行委員長

深井喜代子先生（岡山県）平成 29 年 3 月 19 日（日）、岡山コンベンションセンター

⑦第 41 回全国学術集会が広島で開催されることを受け、準備状況の報告、演題募集に関する周知がなされ、中国・四国地方会運営委員の協力について依頼

#### (2) 第 2 回運営委員会会議

（平成 27 年 3 月 7 日（土）、ニューウェルシティ出雲）

①会則変更について

②選挙について

③平成 26 年度事業報告

④平成 26 年度会計報告、監査報告

⑤役員の選出について

⑥平成 27 年度事業計画

⑦平成 27 年度予算案

⑧第 29 回学術集会準備状況について

⑨学術集会について

#### 2) 学術委員会

(1) 平成 26 年度第 1 回学術委員会会議 平成 26 年 8 月 22 日（金）、奈良県文化会館

①第 28 回学術集会特別セミナー準備

(2) 平成 26 年度第 2 回学術委員会会議 平成 27 年 3 月 7 日（土）、ニューウェルシティ出雲

①第 28 回学術集会特別セミナーの打ち合せ

(3) 第 28 回学術集会において特別セミナーの開催

日 時：平成 27 年 3 月 8 日（日）

場 所：島根県立大学 出雲キャンパス

#### 3) 広報委員会

(1) 平成 26 年度ニュース・レター No.22 を 9 月に発行、会員 963 名に送付した。

## ●平成 26 年度会計報告●

### 【収入の部】

（単位：円）

| 費 目    | 26 年度予算 | 26 年度実績 | 差異       |
|--------|---------|---------|----------|
| 前年度繰越金 | 501,955 | 501,955 | 0        |
| 地方会補助金 | 490,000 | 470,000 | - 20,000 |
| 雑収入    | 140     | 164     | 24       |
| 合 計    | 992,095 | 972,119 | - 19,976 |

### 【支出の部】

（単位：円）

| 費 目      | 26 年度予算 | 26 年度実績 | 差異       |
|----------|---------|---------|----------|
| 郵送費      | 100,000 | 80,162  | - 19,838 |
| 事務費      | 100,000 | 43,794  | - 56,206 |
| 人件費      | 30,000  | 10,000  | - 20,000 |
| 各種委員会活動費 | 60,000  | 48,715  | - 11,285 |
| 印刷費      | 75,000  | 62,000  | - 13,000 |
| 記念事業等積立金 | 100,000 | 100,000 | 0        |
| 学術集会支援金  | 150,000 | 150,000 | 0        |
| 予備費      | 10,000  | 0       | - 10,000 |
| 次年度への繰越金 | 367,095 | 477,448 | 110,353  |
| 合 計      | 992,095 | 972,119 | - 19,976 |

## ●委員会より●

### 【学術委員会】

平成 26 年度の学術委員会では、第 28 回学術集会（in 島根）において、前年度の量的研究に引き続き、特別セミナー「文献の読み方 パート 2：質的研究編」が開催されました。参加者には事前に検討する量的研究論文が郵送され、学術委員会委員長による質的研究の文献クリティークに関するミニレクチャーの後、4 グループに分かれて、クリティークのチェックリストを参考にしながら、意見交換を行いました。各グループには学術委員がファシリテーターとして参加し、文献の読み方が具体的にすすめられ、研究に関する質問も聞かれ、時間がもっと欲しいと思うセミナーでした。（学術委員会委員長：片岡三佳）

### 【広報委員会】

平成 27 年度中国・四国地方会広報委員会では、ニュース・レター 23 号を発行しました。中国・四国地方会学術集会について第 28 回の報告、第 29 回の開催案内を中心に、第 30 回についても速報を掲載いたしました。また、運営委員長のご挨拶や事業計画等、会員の皆様に活動報告と今後の事業計画を発信いたしました。今後も会員の皆様に情報提供、活動報告の場としてニュース・レターを活用していただけるよう広報委員会として取り組んでいきたいと思っております。皆様からのご意見をお待ちしています。（広報委員長：池田理恵）

## ●日本看護研究学会中国・四国地方会選挙管理委員会よりのお知らせ!!●

平成 27 年度より本地方会の運営委員は各県毎に選出することになりました。選挙は電子投票で行います。投票受付期間は、平成 27 年 10 月 1 日（木）～ 10 月 31 日（土）までです。詳細は後日、公示文にてご案内いたします。

## ●平成 27 年度事業計画●

1. 第 29 回学術集会開催  
実行委員長：坂本雅代 先生（高知大学）  
日 時：平成 28 年 3 月 6 日（日）  
場 所：高知県南国市（高知大学岡豊キャンパス）
2. 平成 27 年度総会開催  
日 時：平成 28 年 3 月 6 日（日）  
場 所：高知大学岡豊キャンパス
3. 委員会活動
  - 1) 運営委員会
    - (1) 第 1 回  
日 時：平成 27 年 8 月 22 日（土）運営委員会終了後  
場 所：日本看護研究学会第 41 回学術集会会場  
広島国際会議場
    - (2) 第 2 回  
日 時：平成 28 年 3 月 5 日（土）第 29 回学術集会前日  
場 所：高知県
  - 2) 学術委員会
    - (1) 第 1 回  
日 時：平成 27 年 8 月 22 日（土）運営委員会終了後  
場 所：日本看護研究学会第 41 回学術集会会場 広島国際会議場
    - (2) 第 2 回  
日 時：平成 28 年 3 月 5 日（土）  
第 29 回学術集会前日運営委員会終了後  
場 所：高知県
  - 3) 広報委員会
    - (1) 平成 27 年度ニュース・レター No.23 を 9 月に発行、会員約 1000 名に送付する。
  4. 運営委員選挙
  5. その他
    - 1) 第 30 回学術集会で行われる 30 周年記念事業記念講演について
    - 2) 30 周年記念事業の記念誌編集委員長及び委員の選出について

## ●平成 27 年度予算●

【収入の部】 (単位：円)

| 費 目    | 26 年度実績 | 27 年度予算案 | 差 異      |
|--------|---------|----------|----------|
| 前年度繰越金 | 501,955 | 477,448  | - 24,507 |
| 地方会補助金 | 470,000 | 490,000  | 20,000   |
| 雑収入    | 164     | 140      | - 24     |
| 合 計    | 972,119 | 967,588  | -4,531   |

【支出の部】 (単位：円)

| 費 目      | 26 年度実績 | 27 年度予算案 | 差 異       |
|----------|---------|----------|-----------|
| 郵送費      | 80,162  | 100,000  | 19,838    |
| 事務費      | 43,794  | 20,000   | - 23,794  |
| 人件費      | 10,000  | 10,000   | 0         |
| 各種委員会活動費 | 48,715  | 55,000   | 6,285     |
| 印刷費      | 62,000  | 70,000   | 8,000     |
| 記念事業等積立金 | 100,000 | 100,000  | 0         |
| 学術集会支援金  | 150,000 | 150,000  | 0         |
| 選挙費用     |         | 450,000  | 450,000   |
| 予備費      | 0       | 10,000   | 10,000    |
| 次年度への繰越金 | 477,448 | 2,588    | - 474,860 |
| 合 計      | 972,119 | 967,588  | - 4,531   |

選挙にかかる費用は、会員総数×500 円を上限として、実費が本学会から支給される。

## ●中国・四国地方会第 30 回学術集会のご案内（第一報）

記念すべき第 30 回学術集会の日程が決まりました。

会期：平成 29 年 3 月 19 日（日）

会場：岡山コンベンションセンター

（岡山県岡山市北区駅元町 14-1 フォーラムシティビル）

実行委員長：深井喜代子（岡山大学大学院）

## ●特別会計（記念事業等積立金）●

【収入の部】 (単位：円)

| 費 目    | 26 年度実績 | 27 年度予算案 | 差 異     |
|--------|---------|----------|---------|
| 前年度繰越金 | 390,540 | 490,626  | 100,086 |
| 当年度積立金 | 100,000 | 100,000  | 0       |
| 雑収入    | 86      | 60       | - 26    |
| 合 計    | 490,626 | 590,686  | 100,060 |

【支出の部】 (単位：円)

| 費 目    | 26 年度実績 | 27 年度予算案 | 差 異     |
|--------|---------|----------|---------|
| 次年度繰越金 | 490,626 | 590,686  | 100,060 |
| 合 計    | 490,626 | 590,686  | 100,060 |

## ●事務局より●

事務局が香川大学医学部看護学科内に移設され、2 年目を迎えました。皆様から多くのご支援をいただき、運営できておりますことに心より感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。事務局へのお問い合わせは、事務局専用アドレス [jsnr-cs@med.kagawa-u.ac.jp](mailto:jsnr-cs@med.kagawa-u.ac.jp) までお願い致します。

## 一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会第29回学術集会のご案内

第29回学術集会を高知県南国市において開催いたします。今回のテーマは、「より良い看護実践への探求ー臨床における看護研究ー」と致しました。より良い看護を実践するためには、明らかになっていない看護上の課題に目を向けて、その課題の謎解きを行うこと。そして、謎解きで明らかになった成果を活用すること、が重要と言えます。そこで、看護上の課題についての謎解きを行う看護研究、その中でも臨床における看護研究に、焦点をあてました。看護研究の多様性をふまえ、より良い研究的な取り組みについて探りたいと考えています。多くの看護職の皆様のご参加を心からお待ちしております。

実行委員長 坂本雅代（高知大学医学部看護学科）

### ■テーマ：より良い看護実践への探求ー臨床における看護研究ー

会 期：平成28年3月6日（日）9：00～15：50（8時30分開場）

会 場：高知大学医学部看護学科（高知大学岡豊キャンパス：高知県南国市岡豊町小蓮）

### ■プログラム

#### ○学術講演

##### 「臨床ケアを導く看護研究」

坂下 玲子氏（兵庫県立大学看護学部・教授）

#### ○教育講演

##### 「看護実践と新たな研究デザインー事例研究法を考えるー」

黒江 ゆり子氏（岐阜県立看護大学・学長）

#### ○特別セミナー

##### 「臨床看護師のための研究支援ー計画の立て方を中心にー」（地方会学術委員会企画）

#### ○一般演題（口演・示説）

演題募集期間 平成27年10月1日（木）～10月25日（日）

演題登録の方法

以下のホームページから登録できます。

・日本看護研究学会中国・四国地方会 HP <http://www.jsnr.jp/district/chugoku-shikoku/>

・高知大学医学部看護学科 HP [http://www.kochi-ms.ac.jp/~kms\\_ns/faculty\\_3-1.html](http://www.kochi-ms.ac.jp/~kms_ns/faculty_3-1.html)

○懇親会 平成28年3月5日（土）18:00～ 土佐御苑（高知市大川筋1-4-8）（参加費／5,000円）



### 中国・四国地方会第29回学術集会事務局

担当：高橋（美）、寺下（医学部看護学科）

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部看護学科

TEL/FAX：088-880-2520 E-mail：kenkyu29@kochi-u.ac.jp



発 行 〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1 香川大学医学部看護学科内  
一般社団法人 日本看護研究学会 中国・四国地方会事務局  
発行責任者 会長 大森 美津子 広報委員長 池田 理恵